

研究大会 公開授業

1. 期 日

平成22年11月2日(火)

受付 13:20~

公開授業 13:40~14:30 (5校時)

研究協議 14:50~16:30

2. 会 場

札幌市立北辰中学校 (北区北18条西2丁目)

3. 公開授業内容

授業者 伊藤雄一先生(北辰中)

単元 3年理科 地球と宇宙

利用番組 10min. ボックス『太陽をみる』~『太陽のすがた』

第9回 太陽をみる 太陽のすがた

天体望遠鏡で太陽を観察する

天体望遠鏡を使っての太陽の観察。肉眼ではまぶしすぎて直接見ることができないため、投影板に映して間接的に観察します。まず、見通しのよい屋上などに天体望遠鏡を取り付ける台を置きます。台には「赤道儀(せきどうぎ)」がついています。赤道儀の「極軸(きょくじく)」を北極星の方向に合わせておくと、動く太陽を簡単に追うことができるようになります。星図は北極星が見えないので、方位磁針と分度器で方向を合わせます。赤道儀の極軸をその土地の緯度と同じ角度に傾けます。これで極軸が合いました。

望遠鏡の設置、調整

赤道儀に、バランスをとるためのおもりを取り付け、反対側に望遠鏡を付けます。このとき、誤ってレンズをのぞいてしまうと危険なので、対物レンズとファインダーのカバーはつけかたましにしておきます。次に、観察用の投影板(どうえいばん)を取り付けて、望遠鏡のバランスをとります。望遠鏡の向きを微調整するための11枚のネジを付けます。このネジを1か所1か所ずつ調整して、望遠鏡が向き合います。

【参考】NHKのホームページより(上図)

<http://www.nhk.or.jp/10min/rika1/ja/49arasuji.html>

札中放研究大会 参加申込書

	学校	お名前	
--	----	-----	--

参加ご希望の方は、10月28日(木)までに、稲積中 布施まで、
メールかまたはFAX(684-5738)で申し込んでください。